

# cheer

チアー [cheer]

応援すること・喝采すること・激励すること  
元気がよいこと・気分のよいこと・おいしいこと

NO.18

## Reportage of Graduates

それぞれの卒業後を追う

京都市立美豆小学校校長／西澤安夫  
有限会社ヤオキ代表取締役／植條敬介

## 卒業生リレーエッセイ

吉仲和夫・中島道明・河西(旧姓芦田)久美子

## エリア探訪「岐阜編」

安江製菓有限会社常務取締役／安江正好

## KGUトピックス

### バイオ環境学部を開設

2006年度同窓会入試について  
同窓会の皆様の個人情報管理について  
2006年度入試日程・科目のご案内

## 同窓会の広場

同窓会「滋賀県支部」設立総会・懇親会を開催  
サンフランシスコ旅行レポート／北川洋三  
懐かしの下宿を訪ねて／上田りつ子さん  
人事告知板・決算書・事務局だより

## クラブ活動レポート

準硬式野球部・クレール射撃同好会

米田貞一郎先生の門下生として  
 教えを守り、  
 子どもたちに寄り添い、心を通わせて、  
 児童教育に全力を尽くしています。



## 西澤 安夫

昭和49年経済学部経済学科卒業  
 京都市立美豆小学校校長  
 京都市伏見区淀美豆町1244  
 TEL.075-631-7161  
 E-mail/mizu-s@edu.city.kyoto.jp



児童教育一筋を貫き、  
 校長になってますます  
 情熱を燃やす熱血教師。

### KGU生として小学校教員を目指し 1年間ですべての小学校教職内容を履修

西澤さんが入学したのは開学2年目のこと。何もかも一からつくりあげていった時代で、それだけにエピソードも多い。「一番の思い出は、サッカー部の立ち上げですね。グラウンドの開墾・整地から始めたのですが、石を取り除くとマムシが出てくる始末。ボールやネットなどの調達もほとんど自前ですから、学園祭の模擬店で得た収益をそれに充てるなど、今では考えられない苦労がありました」1期生4名でスタートした同好会を部に昇格

させ、西澤さんがキャプテンとなって今日の礎を築いていったのである。そして、その後の人生を決定づけたのが米田貞一郎先生との出会いであった。3回生も終わりに近いころ、米田先生から「教員になる勉強をしてみないか」と声をかけられたのだ。教師になるのが夢だった西澤さんに否やはない。結局、2期生4名が小学校の教職内容を学ぶことになった。「4回生になって1年間、朝9時から夕方5時までみっちり授業を受けました。習字やピアノの練習から教室での声の出し方、黒板に書く文字の大きさ、遠足時の引率や号令のかけ方まで、教師になるためのあらゆることを学びましたね」こうして京都学園大学から高校・中学校第1種教員免許取得者が誕生したのである。

### 親を引き込み地域と一体となって 社会で自立できる子を教え育てる

小学校教員免許を取るため、西澤さんは小学校に講師として勤めながら、さらに1年間



京都市内の最南端に位置し、豊かな自然に囲まれた京都市立美豆小学校。平成16年には、「地域ぐるみの学校安全推進モデル校」として文部科学省の指定を受けた

通信教育で学んだ。そして昭和50年、京都市立養徳小学校で晴れて教員としての第一歩を踏み出したのである。以後、御室小学校、宇多野小学校、翔鸞小学校と転任し、22年目に桂東小学校へ教頭として着任、それから5年目に現在の美豆小学校へ校長として赴任した。「教育とは教え育てること。つまり、生きるために必要な知恵や工夫、創造力などを身につけさせ、社会で自立できる子を育てることです。最近は、家庭でやるべきしつけを学校に求める親が増えています。そういう親とともに考え、一緒に子どもを育てていくというスタンスが大切ですね」



保護者とのコミュニケーションを大切にするとともに、地域社会とも密接な連携を取り合っており、学校の枠を超えた健全な児童育成に取り組んでいるという。

### 32名の教職員が一つの家族となり いつも子どもとともに学び、遊ぶ

30年間にわたる教員生活を通じて西澤さんは『寝る時以外の時間はすべて子どもの教育に注ぎ込み、全精力を傾けて取り組み』『人との出会いを大切に人から学び、生かし、実践せよ』といった米田先生の教えを常に守り続けてきた。「子どもたちはみんな素直で素朴です。新しい発見があると目を輝かせるし、何かができるようになると素直に喜ぶ。そんな子どもたちに常に寄り添い、心を通わせれば自然と私の周りに集ってきます」校長室の机の上には、子どもたちが折って校長先生にプレゼントした折り紙がいっぱい載っている。そう、校長室にいても、校庭に出ても、いつも西澤さんの周りには子どもたちがいるのである。「もちろん、私だけの力でどうなるものでもありません。32名の教職員みんなで子どもたちにかかわり、一緒に育てていく。いわば家族同然の仲間であり、すばらしい人間関係に恵まれています。そんな中から人に対する思いやり、やさしさが育まれ、子どもたちの教育にもいい影響を及ぼすものと確信しています」



「米田先生から学んできたこと、それを今の教員たちにも伝えたい」と西澤さん。教員一人ひとりの対話も大切にしている

総勢32名の教員のことを「家族同然に思っている」と話す西澤さん。職員室には和気あいあいとしたムードが漂う



**24歳で会社を設立、  
32歳で市議会議員になった  
若さと行動力の熱血漢。**

## 植條 敬介

平成5年経済学部経済学科卒業  
有限会社ヤオキ代表取締役  
香川県坂出市議会議員  
坂出市林田町3797-10  
TEL.0877-47-1399  
E-mail/yaoki@mail.kbn.ne.jp

贈答品販売会社を  
経営するかたわら、  
若い世代を代表する市議会議員として  
街づくり・ひとづくりを  
努めています。

### 軽音楽部や学友会で活発に活動し 地域のイベントにも積極的に参加

「いいところへ来たなあ、というのが亀岡を初めて訪れた時の第一印象でした。すばらしい自然に恵まれて、勉強をする環境としては申し分ないですからね。地域の人たちもあたたかくて、下宿生活も楽しく過ごすことができました」

そんな植條さんは、子どものころから習っていたピアノの腕を生かして軽音楽部に入学した。担当はキーボード。ポップスからロックまで幅広くこなし、京都・大阪のライブハウスを渡り歩いたという。

「アルバイト先の特別養護老人ホームで、仲間3、4人と何度かバンド演奏したこともあ



りますが、涙を流して喜んでもらいましたね。図らずも、施設が立派なだけではダメなんだ。心の交流、心の中の充実感が大切だということを知りました」

さらに文化連合協議会幹事長や学友会中央委員会副議長も務め上げた。

「亀岡青年会議所のホテルの夕べ、亀岡市の大名行列、京都青年会議所の学生まつりなど、地域のイベントにもよく参加しましたね。これらを通じて得た経験や人脈が今に生きています」

### 河合楽器で営業センスをみがき 親の援助を得てギフト店を開業

卒業後、やはりピアノがらみで入社したのが河合楽器。浜松本社で半年間の研修を受けたあと、営業活動を開始した。

「いわゆるローラー作戦、つまり1軒1軒しらみつぶしに訪問営業するわけですね。これによって、人との接し方やお客様からの情報入手方法など、営業の基本をしっかりと身につけることができました。熱心に指導していただいた当時の上司や先輩には、今も深く感謝しています」

「1年ばかりたったころ、父が故郷へ帰ってギフト販売の仕事をしたかと言ってきたのです。もともとチャンスがあれば独立したいと考えていたものですから、これを機に坂出へ戻ることになりました」

平成6年5月、最初はカタログを持って営業に回り、これならいけるという感触を持った同年12月、両親の援助を得て有限会社ヤオキを設立し、代表取締役に就任した。そして翌年2月には「シャディサラダ館坂出林田店」を出店したのである。



学生時代は軽音楽部の仲間と組んだバンド「冒険団」でキーボードを担当。京都・大阪のライブハウスを中心に、幅広い活動を行っていた



### 子育て世代の悩みを代弁して 教育・福祉の問題に取り組む

「出店して間もなく、坂出青年会議所に入会しました。地域のさまざまなイベントに参加する一方で、若いもの同士、これからの街づくり・ひとづくりについて大いに議論をたかかわせたものです」

そんな折、市議会議員を務めていた高校の先輩が県議会議員に転出したのにもない、立候補してみないかという話が舞い込んできた。少子高齢化を背景とした教育・福祉問題など、若い力で解決すべき課題が数多くある。意を決して受諾し立候補した結果、見事に初当選を果たした。平成15年4月、32歳の春のことである。

「女性の社会進出が進むなか、誰が子どもの世話を家庭で行うのか。子どもが危険にさらされているなか、誰が責任をもって安全を守るのか。おとしよりが災害に遭ったとき誰が助け、その後のケアを行うのか。そ

うした数々の問題に正面から立ち向かい、解決するために、今こそ私たち若い力が求められています」

「これらを解決するためには、社会全体のしっかりとした仕組みづくりが必要です。市議会議員というのは決して名誉職なんかじゃない。常に前向きな姿勢で体を張って市政に取り組み、行政を変えていかなければなりません。子育て世代の代表として悩みや問題点を汲み上げ、全力で訴え続けていきたいと思っています」

32歳で当選したからこそ、若さゆえのメリット・デメリットを感じているという植條さん。「各世代の代表が集まり、幅広い視点から市政のあり方を考えていけたらいいですね」



学生時代は学友会や文化連合協議会が発行する広報誌づくりに、編集長として携わった

# 卒業生リレーエッセイ

京都学園大学でともに学び、ともに汗を流した仲間との思い出は、何年たっても忘れられないもの。今回も3人の懐かしい同窓生からエッセイを寄せていただいた。これからも卒業期を超えたバトンタッチでその輪を広げ、より多彩な同窓生に登場していただきたいと願っている。

**JR山陰本線で通学し、学業とスポーツに打ち込んだ日々を懐かしく思い出しています。**



**吉仲和夫**  
昭和52年経済学部  
経済学科卒業

私が入学したのは設立4年目で、まだ学生数が少なく、教授とも仲良く和気あいあいといった雰囲気でした。教職課程を取るため、朝6時ごろ家を出て1講時目から授業を受け、夕方からはバレーボールで汗を流すという毎日、帰宅するといつも夜10時ごろになっていました。現在、父が創業した自動車全般を扱う(株)ブラザー商會を継いでいますが、学業とスポーツを両立させたことが今に役立っています。京都学園大学で学んだことを誇りに思うとともに、改めて感謝の念を抱いています。



平成7年から出身校の守山高校で男子バレーボール部のコーチを務め、9年には県大会で準優勝という成績を収めました。この写真はそのOB会のひとこまで

NEXT

次は満岡一也さん  
(昭和52年経済学部経済学科卒業)を紹介します

**関西学生3部リーグでわがサッカー部が初優勝!あの感激が忘れられません。**



**中島道明**  
昭和60年経済学部  
経営学科卒業

大学時代の思い出といえば、何といってもサッカー部。3回生の秋、関西学生3部リーグで念願の優勝を果たし、東條先生をはじめ多くの大学関係者、OBの方々が、優勝祝賀会に駆けつけてくださいました。一般貨物輸送の(株)中島商運を経営するかたわら、今も大学の恩師・山下哲先生が理事長を務めておられる亀岡サッカー協会に所属し、中学生を中心にサッカーを通じて青少年の健全な育成に取り組んでいます。また、私自身もシニアリーグで、現役選手として元気いっぱいプレーしています。



卒業後満20年を迎えた今年は、結婚20年の節目でもあります。これに先駆けて昨年12月、ハワイへ記念旅行に出かけました。これはオアフ島で撮った1枚です

NEXT

次は市川 恵さん  
(昭和58年経済学部経営学科卒業)を紹介します

**映画好きが縁で一昨年結婚。30周年記念式典は新婚旅行中で出席できませんでした。**



**河西久美子**  
(旧姓芦田)  
平成7年法学部  
法学科卒業

映画が好きで、年に100回以上も映画館に通ってました。これが縁となり、映画会社に勤めていた主人と知り合っ、平成15年10月に結婚、今年4月には子にも恵まれました。ただ、ちょうど新婚旅行中で、30周年記念式典に出席できなかったのは残念!次の機会にはぜひ参加したいと思っています。生まれてから結婚するまで、ずっと地元・園部で過ごしてきた私にとって、他府県から学生さんが集っていた京都学園大学は、いい勉強の場となりました。地方にたくさんの友だちができて本当に良かったと思っています。



結婚後は料理に目覚め、今では和洋中に加えてお菓子づくりまで何でもOK! この写真は山吹のシーズンに近くの松尾大社へ主人と行った時に撮影したものです

NEXT

次は高木康裕さん  
(平成7年法学部法学科卒業)を紹介します

## エリア探訪

# 岐阜編



岐阜県

## 斎藤道三が、織田信長が築いた城下町・岐阜市で、手づくりの味を継承する大正元年創業の伝統の技。

### 三代にわたって継承してきた昔ながらの「やすえのおかき」

斎藤道三が開き、織田信長が「楽市楽座」で発展させた城下町・岐阜市。信長が天下統一を目指し、「天下布武」のローグを掲げたことでも有名だ。鶺鴒いで知られる長良川河畔にそびえたつ金華山山頂には岐阜城が再建され、かつての城下町の繁栄ぶりを今に伝えている。この岐阜市で大正元年に創業し、三代にわたって昔ながらのおかき・あられを製造しているのが安江製菓だ。機械化が進んでいるものの、餅つきから手がける製法は手づくりの味を伝えており、「やすえのおかき」として親しまれている。



大正元年創業の安江製菓。現在は地元スーパーマーケットを中心に販売活動を行う一方、大手企業や病院などの売店や自販機、ホテルの冷蔵庫など、問屋機能を生かした積極的な新規開拓で業容の拡大を図っている



3月のひなあられ、5月の鯉のぼりといった季節感を取り入れるなど、商品にもさまざまな工夫をこらしている

### アップダウンの激しい亀岡は陸上部の練習には最適だった

「嗜好の変化が激しくて、おかき・あられの市場は縮小する傾向にあります。そこでスナック菓子や飲料などメーカー品を扱う商事部門を設ける一方、小売部門の展開も考えているところです」  
「大学での思い出といえば、先輩と2人で陸上部をつくり、亀岡の山野を走り回ったこと。駅伝がある時には、サッカー部からメンバーを借りて出場したものです。顧問になってもらった剣道部の橋本先生、親しくさせていただいたサッカー部の山下先生を懐かしく思い出します」



## 安江正好

PROFILE

昭和53年経済学部経営学科卒業  
おかき・あられ製造および食品卸  
安江製菓有限会社常務取締役  
岐阜県岐阜市清本町2-13  
TEL.058-272-2745 (代)



工場内のおかきの製造工程。機械化によって省力化を図る一方、要所要所に手づくりの良さを生かし、大手メーカーにはない独自の製品づくりを行っている。工場内いっばいに広がる醤油の香りが食欲をそそる

安江さんに聞きました

## 岐阜観光おすすめスポット



美濃・飛騨の伝統工芸品から国内外の現代美術品まで、豊富な展示を誇る岐阜県美術館



郷土の自然から科学技術、宇宙・気象まで、科学する力や好奇心を満たす岐阜市科学館



岐阜随一の観光スポットはなんといっても鶺鴒いで有名な長良川。桜の名所でもある



織田信長が天下統一を夢見た金華山山頂の岐阜城。ここからは岐阜市内が一望できる

# KGUトピックス



## バイオ環境学部を開設します

～2006年4月スタートに向けて着々と開設準備を進めています～

21世紀は環境の時代であり、またバイオサイエンス・バイオテクノロジーの世紀であるとも言われています。確かに2010年には、環境・エネルギー分野や食料分野、医療・健康分野などバイオ関連の市場規模が約25兆円に、また環境ビジネス市場は40兆円に迫ると予想され、グリーンバイオ技術者やバイオ環境デザイナーへのニーズが急速に高まっています。こうした時代の要請に応えるため、京都学園大学では2006年4月を目指し、バイオ環境学部の開設準備を進めています。※設置認可申請中

### ●学部開設の背景

水質汚染、大気汚染、土壌汚染、廃棄物処理、リサイクルなどの環境問題は、今や人類にとって緊急の課題となっています。とりわけ、さまざまな生き物が地球上に共生する「生命の多様性」は、取り返しがつかない段階へと進みつつあります。一刻も早く環境劣

化の流れを止め、環境保全・再生へと流れを変えなければなりません。こうした環境問題を解決する方法として、昨今注目されているのがバイオサイエンス・バイオテクノロジーです。それは無限の可能性を持つ裾野の広い先端科学であり、確実に

環境を変革する力を備えています。しかし、この分野での日本の研究・教育は、他の先進諸国に比べて立ち遅れているのが現状です。次代の産業発展を担う人材を育成するために、バイオ環境に関する研究・教育の充実が強く求められています。

### 2010年のバイオ関連市場規模



※内閣総理大臣の下に設置されたバイオテクノロジー戦略会議による「バイオテクノロジー戦略大綱」より

### ●学部の特色

開設準備を進めているバイオ環境学部が目指すのは、持続可能な地球環境ならびに地域社会の構築です。それはバイオ環境、すなわち人と多様な生き物が共生できる環境の実現であり、最先端のバイオサイエンスと広い裾野を持つ環境学を連携させた、全く新しい

教育・研究に取り組みます。こうした目的を達成するため、バイオサイエンスを基礎から学習・研究し、それを環境保全と環境再生に役立てるための応用技術の研究・開発に取り組みます。また、そうした技術を実社会で有効に活用するための、グラン

ドデザイン力の養成を目指します。さらに、科学英語の読解力を主とする語学教育、コンピュータを自在に使いこなせるIT教育にも力を注ぐとともに、実験・実習を重視したカリキュラム編成により、実社会で通用する能力の養成に努めます。

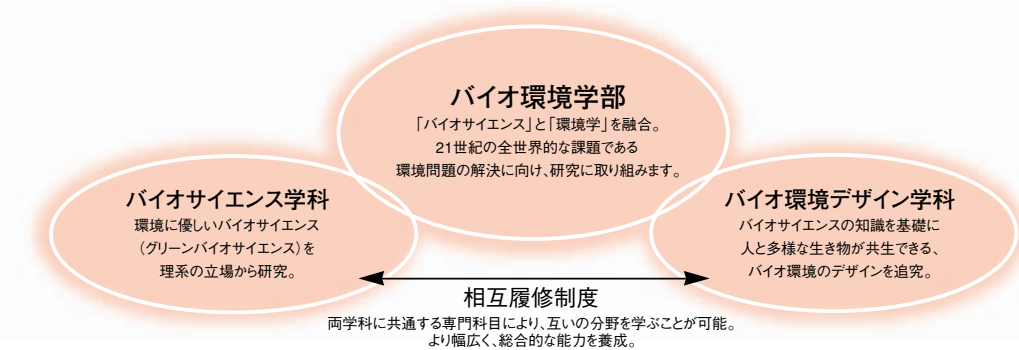
### ●育成する人材

バイオサイエンス学科では、分子・細胞レベルでのバイオサイエンスを学び、環境に負荷をかけない物質循環を追究。環境保全・再生への取り組みに配慮できる、高度な専門技術と総合的な判断力を備えたグリーンバイオ技術者・研究者を育てます。

バイオ環境デザイン学科では、あらゆる角度からバイオ環境のデザインを追究。デザインの具体化を支える技術、とくにバイオ技術の知識を備えた環境デザイナーや、行政などで地域社会の環境システムを構築する実践的プランナーを育てます。



バイオ環境学部校舎の完成予想図



### ●バイオサイエンス学科

#### 環境保全・環境再生への視点を備えたグリーンバイオ技術者を養成します。

**学科の特色** バイオサイエンスに環境保全・環境再生の視点を加えた、グリーンサイエンスを学び、研究・開発する学科です。いま人類が直面している環境問題に対し、的確に対処できる総合的な判断力(デザイン力)を身につけた、グリーンバイオ技術者の育成を目指します。バイオサイエンス学科の専門科目としては、生物有機化学エリア、応用生化学エリア、遺伝子機能学エリア、微生物機能開発学エリア、食品機能・健康科学エリア、植物バイオテクノロジーエリア、バイオ環境科学エリア、バイオ実験などの各授業を予定しています。また、微生物・植物・健康など多彩な分野の研究室の設置も予定しています。

**予想される進路** バイオ関連企業(ビール・酒・酢・醤油醸造、食品、飲料、油脂、乳業、製菓、製パン、農薬、薬品、繊維、種苗など)、環境関連企業(建設業、コンサルタント会社など)、家電メーカー、自動車メーカー、総合商社、バイオ関連研究機関、国家公務員、地方公務員、JICA、教員(高等学校)など、メーカーの研究開発員や研究機関の研究員として幅広く活躍できる道が開けています。

### ●バイオ環境デザイン学科

#### 科学的な知識と技術を身につけたバイオ環境デザイナー・研究者を養成します。

**学科の特色** バイオサイエンスを学び、基本的な知識をしっかりと習得したうえで、人と多様な生き物が共生できる「あるべき環境の姿」＝「バイオ環境」をデザインできる総合力を培います。また、地域社会などにおいて環境保全・再生のための具体的な取り組みを計画・デザインできる能力も養成し、幅広く活躍できるバイオ環境デザイナーの育成を目指します。専門科目としては、流域環境デザインエリア、農・森林環境デザインエリア、都市自然化デザインエリア、エコマテリアルエリア、バイオ高度化利用エリア、環境経営エリアなどの各授業を予定。また、流域や農・森林、都市デザインなど多彩な分野の研究室も設置する予定です。

**予想される進路** 国家公務員、地方公務員(地域環境の企画立案・設計・実施部門など)、環境関連企業(水処理、廃棄物処理、環境調査、環境コンサルティングなど)、景観デザイン事務所、造園会社、環境企画設計会社、農業協同組合、森林組合、環境関連NPO/NGO、建設企業(社会基盤の設計・施工)、自然科学系博物館、JICA、教員(高等学校)など、公務員・企業・NPOなどへの道が開かれています。

### ■バイオ環境学部/2006年度入試日程・科目

※設置認可申請中のため、内容が変更になる場合があります。詳しくは京都学園大学入試課までお問い合わせください。

制度	選考区分	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日(1次)	入学手続締切日(2次)	試験地	本学	札幌	東京	名古屋	金沢	大阪	岡山	広島	高松	福岡
推薦入試	公募推薦入試	英・数・理より 高得点2科目+ 評定点	12/1(木)～12/9(金) ※本学へ持参の場合、 12/10(土)・12/12(月)受付可	12/18(日)	12/24(土)	1/13(金)	1/27(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般入試前期	英・数・理より 高得点2科目	1/6(金)～1/19(木) ※本学へ持参の場合、 1/20(金)・1/21(土)受付可	1/27(金)	2/3(金)	2/15(水)	3/3(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般入試	一般入試中期	英・国・ 数・理より 高得点3科目	1/16(月)～1/31(火) ※本学へ持参の場合、 2/1(水)・2/2(木)受付可	2/8(水)～ 2/10(金)	2/17(金)	2/24(金)	3/24(金)	本学 地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般入試後期	英・数・理より 高得点2科目	2/10(金)～2/24(金) ※本学へ持参の場合、 2/25(土)・2/27(月)受付可	3/5(日)	3/11(土)	3/17(金)	3/24(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Topic 2

# 同窓生の家族を対象にした入試制度です

## ～2006年度「同窓会入試」のご案内～

かねてより同窓会との連携を強化する一環として、大学内で審議を重ねてまいりました「京都学園大学同窓会入試制度」は2005年度からスタートし、今年度も同様に実施いたします。

これは、本学の教育目的に賛同する卒業生または在学生の家族で、本学を第一志望とする受験生を対象に、模擬授業と面接・事前レポートで判定する入試制度です。授業料から入学金相当額が免除になります

ので、ぜひご利用いただきますようお願い申し上げます。なお、この制度は人間文化学部の前身である京都文化短期大学同窓会も含めます。入試要項・願書を希望される場合は本学入試課までにお申し出ください。

### 2006年度 同窓会入試の概要

試験日	9月18日(日)
募集人員	経済学部、経営学部、法学部、人間文化学部の各学科で若干名
出願資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成18年3月高等学校卒業見込みの者</li> <li>■受験生の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都学園大学あるいは京都文化短期大学を卒業した者、または京都学園大学に在学中の者</li> <li>■専願であること</li> </ul>
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■希望学部・学科の模擬授業(レポート作成含む)</li> <li>■面接</li> <li>■事前レポート</li> </ul>
減免措置	授業料から入学金相当額を免除する
備考	専願といえども選考の結果、不合格もあり得る

Topic 3

# 同窓会の皆様の個人情報管理について

## ～個人情報保護法に基づき情報管理を徹底します～

平成17年4月1日から個人の権利や利益を保護するために、「個人情報保護法」が全面施行されました。京都学園大学同窓会では現在、同窓生の皆様のご氏名・現住所・帰省先住所・電話番号・就職先のデータを管理しております。これらの個人情報は、同窓会イベント開催のお知らせ・同窓会支部創設のお知らせ・同窓会報「Cheer」郵送・同窓会報「Cheer」取材ご協力をお願いに活用させていただいており、ご本人の同意を得ることなく、又法令

等に定める特別の場合を除き、第三者に提供することはありません。なお、Cheer等の発送業務に関しては、委託する場合がありますが、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準としています。また、現在は会員名簿の発刊や、電話による寄付のお願いなども行っておりません。イベントや会報の件で電話連絡をさせていただく際には、京都学園大学同窓会事務局担当の氏名を名乗りますので、不審な連絡・

問合せ等がありましたら、下記の問い合わせ先までご確認ください。今後とも同窓生の皆様の個人情報保護に努めていきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

TEL : 0771-22-2001 (代)  
 FAX : 0771-29-2389  
 E-mail : dousoukai@gakuendai.com

Topic 4

# 来年度入試にお力添えをお願いします

## ～2006年度入試日程・科目～ ※パイオ環境学部入試日程・科目はP.8をご参照ください

2006年度の入試日程が下記のとおり決定しました。お子様はもちろん、お知り合いの方々にも、ぜひ受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。なお、大学案内および入学願書は無料で差し上げますので、ご希望の方は本学入試課までにお申し出ください。

制度	選考区分	学科	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日(1次)	入学手続締切日(2次)	試験地	本学	京都駅前	東京	名古屋	金沢	大阪	岡山	広島	高松	福岡	
AO入試	人間関係学科を除く全学科		エントリー、模擬授業、面接	一次エントリー：7/1(金)～8/31(水) 二次エントリー：8/1(月)～9/9(金) 一次エントリー：7/1(金)～9/25(日) 二次エントリー：8/1(月)～9/30(金)	9/18(日)	10/ 8(土)	10/18(火)	12/22(木)	本学	○										
			特技自己推薦入試	特技点+面接	10/20(木)～10/28(金)	11/ 6(日)	11/12(土)	11/18(金)	12/22(木)	本学	○									
公募推薦入試	公募推薦入試A方式		11/18 英・国・数・地歴より2科目+評定	10/27(木)～11/8(火) ※本学へ持参の場合、11/9(水)・11/10(木)受付可。	11/18(金)	11/26(土)	12/ 2(金)	12/22(木)	本学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			11/19 英・国・地歴より2科目+評定		11/19(土)					地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公募推薦入試	公募推薦入試B方式		面接+評定	11/21(月)～12/2(金) ※本学へ持参の場合、12/3(土)・12/5(月)受付可。	12/11(日)	12/17(土)	1/13(金)	1/27(金)	本学・地方	○					○	○				
			1/28 英・国・数・地歴より2科目	1/6(金)～1/20(金) ※本学へ持参の場合、1/21(土)・1/23(月)受付可。	1/28(土)	1/29(日)	2/ 7(火)	2/17(金)	3/ 3(金)	本学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般入試	一般入試前期	全学科	1/29 英・国・地歴より2科目		1/30(月)				地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1/30 英・国・数・地歴より2科目		1/30(月)							○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般入試	一般入試後期		1/31 英・国・地歴より2科目		1/31(火)				地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			英・国・数・地歴より2科目	2/9(木)～2/24(金) ※本学へ持参の場合、2/25(土)・2/27(月)受付可。	3/ 4(土)	3/11(土)	3/17(金)	3/24(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
センター利用入試	センター利用入試前期		2科目型・高得点2教科3科目	1/19(木)～2/3(金) ※本学へ持参の場合、2/4(土)・2/6(月)受付可。	1/21(土)	1/22(日)	2/15(水)	2/24(金)	全国の大学入試センター試験会場											
			高得点2教科2科目	2/9(木)～2/28(火) ※本学へ持参の場合、3/1(水)・3/2(木)受付可。	1/21(土)	1/22(日)	3/11(土)	3/17(金)		3/24(金)										
同窓会入試	全学科		模擬授業、面接、事前レポート	9/1(木)～9/9(金)	9/18(日)	9/30(金)	10/18(火)	12/22(木)	本学	○										

※上記の持参受付時間 [平日]9:00～17:00 [土]9:00～12:00

### 2006年度 入試の傾向と対策

- <同窓会入試> 同窓生対象の入試  
本学卒業生あるいは在学生の家族で、高等学校卒業見込みの方を対象にしています。詳しい情報はP9をご参照ください。
- <AO入試> 「学ぶ意欲」と「知力を判断」  
二次エントリーシートと面接・模擬授業で、「学ぶ意欲」と知力を総合的に判断します。※人間関係学科はAO入試を行いません。
- <特技自己推薦入試> 得意分野をいかに  
資格・クラブ・得意科目などを幅広く評価する入試です。高校時代の取得資格や課外活動を評価します。
- <公募推薦入試A方式> 得意科目をいかに  
英語・国語・数学・地歴(日本史Bまたは世界史B)より一番得意とする2教科2科目をその場で選択できます。※19日は数学不可
- <公募推薦入試B方式> 面接のみで受験  
推薦入試合格の最後のチャンス。面接のみで受験できます。※経営学部では女子推薦枠が設けられています。
- 解答はマークセンス方式が中心  
学科試験は主にマークセンス方式での解答です。
- 数学は記述式  
解答過程にも部分点が与えられます。
- センター利用入試は2回実施  
センター利用入試前期には2科目型と3科目型があり、同時出願が可能です。後期は2科目型でのチャレンジとなります。
- 試験日・学部自由選択制  
公募推薦入試A方式、一般入試前期は複数の試験日が設けられているので、好きな日を選んで受験できます。同一学部の複数回受験や他学部との併願も可能です。
- 最高得点を合否判定の対象に  
試験日の連続する入試で同じ学部を複数回受験した場合、最も得点の良かった日の点数で合否判断をします。
- 問題の出題パターンは例年と同じ  
どの入試制度も問題の出題パターンは昨年とほとんど同じです。入試ガイドや問題集(赤本)で傾向分析ができます。
- 地方試験会場も充実  
全国11地区に会場を設置したので自宅近くで受験ができます。試験会場による有利・不利はありません。

### お問い合わせ先

京都学園大学 入試課 ..... 〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL.0771-29-2222(入試課直通)  
 入試情報テレホンサービス ..... ☎0771-24-8686  
 URL ..... http://www.kyotogakuen.ac.jp  
 E-mail ..... nyushi@kyotogakuen.ac.jp

# 同窓会「滋賀県支部」を設立し、 総会・懇親会を華やかに開催

同窓会では、かねてより地方支部の創設を呼びかけてきましたが、その先陣を切って2004年10月10日、「京都学園大学同窓会滋賀県支部」の設立総会・懇親会および記念講演が、草津駅前のホテルポストプラザ草津において開催されました。当日は京都学園大学の辻本理事長、海原学長などの来賓を迎え、華やかにその門出を祝いました。以下、午前11時から3時間半にわたって行われた記念講演、設立総会、懇親会の模様を紹介しましょう。

## 滋賀県支部設立総会プログラム

- 11:00~11:50 記念講演  
【演 題】『吉田松陰に学ぶ～教育の原風景～』  
【講 師】海原 徹様 (京都学園大学学長)
- 12:00~12:45 設立総会
  - 1) 開会
  - 2) 大学歌斉唱
  - 3) 発起人会代表挨拶
  - 4) 同窓会会長挨拶
  - 5) 議長選出
  - 6) 議事 第1号議案 支部役員選出  
第2号議案 支部会則検討  
第3号議案 平成16年度事業計画(案)  
第4号議案 平成16年度予算(案)
  - 7) その他
  - 8) 閉会
- 13:00~14:30 懇親会
  - 1) 開会宣言 副支部長 渋江 敦(司会)
  - 2) 支部長挨拶 支部長 馬場善和
  - 3) 同窓会会長挨拶 京都学園大学同窓会会長 浅野真実
  - 4) 来賓挨拶 学校法人京都学園理事長 辻本一彦様
  - 5) 来賓挨拶 京都学園大学学長 海原 徹様
  - 6) 歓談/大学ビデオ上映・支部役員紹介
  - 7) 大学歌斉唱
  - 8) 万歳三唱 支部幹事 武村 薫
  - 9) 閉会挨拶 副支部長 鳥居彦宏

## 海原学長による記念講演で幕開け 明治維新の元勳を育てた吉田松陰に学ぶ

伊藤博文、山県有朋、高杉晋作、久坂玄瑞など、明治維新の原動力となり、明治政府の要人ともなった人材を数多く育てた吉田松陰をテーマに、海原学長による記念講演が行われました。吉田松陰とはどんな人物であり教師であったのか。どんな経緯で松下村塾がつくられ、どのような特色や教育方針を持って運営されたのか。授業にはどんな工夫がこらされていたのかなど、さまざまなエピソードを交えながら楽しく語られ、出席者全員が興味深く聴講しました。



●松下村塾の概略  
開塾期間/安政3年3月~5年12月  
入 門 者/92名  
年 齢/9~36歳  
成 功 者/総理大臣2名、閣僚4名、知事4名、高級官僚・軍人12名等

講演中の海原徹学長

## 設立総会で役員選出および会則を検討 滋賀県支部会員1,450名でスタート

「全国各地に支部を創設することは同窓会の緊急の課題となっている。そこで1,450名の卒業生を擁する滋賀県において支部を創設し、卒業生相互の交流と親睦を深めるとともに、京都学園大学と卒業生の情報交換や連携協力を緊密にし、京都学園大学の発展と学術の振興に貢献することを願うものである」といった要旨の設立趣旨説明があったあと議事に移行。支部役員選出、支部会則検討、平成16年度事業計画および予算案が承認され、その第一歩を踏み出しました。



挨拶に立つ浅野真実同窓会会長

●滋賀県支部役員  
支 部 長 馬場善和 10期生  
副支部長 渋江 敦 10期生  
副支部長 鳥居彦宏 10期生  
支部幹事 北村幸彦 8期生  
支部幹事 小倉正弘 9期生  
支部幹事 国友 勝 9期生  
支部幹事 武村 薫 9期生  
監 事 益田哲也 10期生  
監 事 谷村義久 11期生

## 和やかに華やかに懇親会を開催 心をひとつにして発展を誓い合う

渋江副支部長の開会宣言のあと、まず馬場支部長が「皆さんと一緒に一步一步滋賀県支部を前進させていきたい」、浅野同窓会会長も「京都学園大学の発展に大いに寄与することを誓う」と力強く挨拶しました。続いて来賓挨拶に移り、辻本理事長から「支部設立という私の長年の夢がかなって嬉しい。今後、新しい課題に取り組むうえで同窓会のさらなる後押しをお願いしたい」。海原学長からは「滋賀県支部を出発点として支部創設を全国展開していくことにより、同窓会システムがもっと広域かつ重層的に機能することを期待したい」とお祝いの言葉をいただきました。

このあと、並河事務局長の乾杯の音頭で懇親会がスタートし、大学ビデオの上映も含めて和やかに立食パーティが繰り広げられました。やがて14時30分、武村支部幹事の万歳三唱、鳥居副支部長の閉会挨拶で名残を惜しみつつ散会となりました。



## 滋賀県支部メンバーの声



馬場善和

昭和57年経済学部経営学科卒業。同窓会滋賀県支部創設の発起人の一人としてその実現に尽力し、初代支部長に選出される。

### 「経営者の集い」を発展させることで卒業生と在学生との関係を深めたい

滋賀県支部が発足した今、「よくここまでこれたな」というのが実感です。お忙しいなか、何かと協力していただいた関係者の方々に心から感謝しています。同窓生同士の親睦を深めるのは当然のことですが、大学が一番望んでおられるのは、「経営者の集い」です。すぐに採用に結びつくかどうかは別にして、在学生と親密な関係をつくりあげることによって、将来、支部への加入もスムーズにいくのではないかと期待しています。同時に、京都学園大学の発展に寄与することを常に忘れることなく、支部活動を続けていきたいと考えています。

### 支部の人的ネットワークを活用し情報交換を活発にしていきたい

滋賀県支部の設立総会に出席し、懐かしい先生や職員の方々に再会できてとても嬉しく思いました。私は結婚と同時に京都から滋賀県に転居し、大津市で台湾家庭料理・喫茶の「梅園(めいゆえん)」を営んでいます。ここが滋賀県在住の同窓生の交流の場になれば幸いです。今後、同窓会や大学と交流することで、仕事や親睦に役立つさまざまな情報が得られると思います。支部設立によって生まれた人的ネットワークをうまく活用していきたいですね。



リョウ ユウ

平成10年経営学部経営学科卒業。台湾出身、滋賀女子短期大学を卒業後、京都学園大学3年次に編入。



小倉正弘

昭和56年経済学部経営学科卒業。滋賀県支部創設の発起人の一人として尽力し、設立総会において支部幹事に選出される。

### 同窓生同士の親睦を深めるのが第一他県へも交流の輪を広げていきたい

設立総会の日を迎えてホッとしました。同窓会という堅苦しいイメージがあると思いますが、親睦を第一にしたイベントなどを主体にして、誰もが気軽に参加できるものにしていきますので、一人でも多く集っていただきたいです。まず、滋賀県支部を維持・存続していくことが大切ですが、他の地域にも支部ができれば、どんな交流の輪を広げていきたいですね。支部設立を考えているエリアがあれば、私たちが全面的に協力しますので、気軽に声をかけていただきたいです。

## 支 部 創 設 ご 協 力 の お 願 い

同窓会では、30周年記念式典にお集まりいただいた方々を含め、今後も幅広く皆様とも交流を図り、より一層の大学の発展に寄与していこうと考え、同窓会の地方支部創設を行うための委員会を発足することになりました。まずは、足元をということで、滋賀県支部の設立を行いました。来る10月15日(土)には九州支部の設立総会を行いますので、同窓会会員の皆様には設立総会のご案内をさせていただくこともあるかもしれませんが、その節はどうぞご協力いただきますようお願いいたします。

また、滋賀、九州以外でも、地方支部創設のお手伝いをしていただける方を募集しております。どうぞ皆様、同窓生のより一層の親睦、交流と大学発展に寄与するために、地方支部創設にご協力いただけますよう、お願いいたします。

TEL : 0771-22-2001(代)  
FAX : 0771-29-2389  
URL : <http://www.gakuendai.com>  
E-mail : [dousoukai@gakuendai.com](mailto:dousoukai@gakuendai.com)

30周年記念式典抽選会「特等」当選者

# サンフランシスコ旅行レポート

前号で紹介したように、同窓会創設30周年記念式典の抽選会で、昭和52年卒業の北川洋三さんが見事「サンフランシスコ 海外ペア旅行券」を獲得された。その体験レポートが送られてきたので要旨を紹介しよう。

## サンフランシスコ市内の観光地をたっぷり満喫

2005年3月23日、4泊6日の日程で関西国際空港を飛び立ちました。サンフランシスコ到着までの約9時間30分、初めての海外旅行とあって、期待と不安と緊張とでほとんど眠れない時を過ごしました。



1日目は市内全体が見渡せるツインピークスを手始めに、ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャーマンズワーフ、チャイナタウン、ユニオンスクエアと市内観光を満喫。

2日目はミュニバス(市バス)でジャパントウンへ、ミュニメトロライン(路面電車)でフィッシャーマンズワーフへ、そしてサンフランシスコ名物のケーブルカーで、坂の街のアップダウンをたっぷり味わいました。

3日目になると、カリフォルニア州中部にあるヨセミテ国立公園まで足を延ばし、奇岩やいくつもの滝が織りなす大自然の美しさと魅力に酔いしれました。そして早くもやってきた最終日。チャイナタウンからノブヒル、ユニオンスクエア周辺へ、街歩きとショッピングを存分に楽しんで全日程を終えました。最初の不安はどこへやら、4日間を通して本当に素晴らしい旅行を体験することができました。機会があれば、ぜひもう一度サンフランシスコに出かけてみたいと思っています。



北川洋三  
昭和52年経済学部  
経済学科卒業  
最高に素敵なプレゼントをいただき、素晴らしい海外旅行を楽しんできました。本当にありがとうございました。

## ヨセミテバレーの奇観に酔いしれショッピングを楽しんで終幕

3日目になると、カリフォルニア州中部にあるヨセミテ国立公園まで足を延ばし、奇岩やいくつもの滝が織りなす大自然の美しさと魅力に酔いしれました。そして早くもやってきた最終日。チャイナタウンからノブヒル、ユニオンスクエア周辺へ、街歩きとショッピングを存分に楽しんで全日程を終えました。最初の不安はどこへやら、4日間を通して本当に素晴らしい旅行を体験することができました。機会があれば、ぜひもう一度サンフランシスコに出かけてみたいと思っています。

# 懐かしの下宿

## 「亀岡のお母さん」の心がこもる「おふくろの味」 温もりのあるテーブルに今も残る下宿生の寄せ書き

上田りつ子さん  
亀岡市安町中島41

### 今も卒業生の心の中に生きる 急逝されたお母さんへの思い

「実は昨年、長年にわたって学生さんのお世話をしてきた母が急逝しましたね。食事をしながら、何でも母に相談していた下宿生たちの姿を懐かしく思い出します」



亀岡駅の近くにあり和室・洋室合わせて9室を備えた下宿

大学が開学して間もないころから下宿を始め、およそ30年にわたって男子学生を受け入れてきた今は亡き学(たか)さんは、まさにみんなの母親がわりでした。「たかさんの卒業生が訪ねてきてくれて、本当によくしてもらったなどと、母との思い出話をしてくれるんですよ」そんな思い出が何よりも色濃く残されているのが、夕食時、ともにだんらんのひとつ時を過ごしたテーブルです。その裏と脚には、卒業して去っていった下宿生の寄せ書きがびっしりと書かれています。「北海道から奄美大島まで、出身地は文字どおり全国に広がっています。母のようにお世話できるかどうか分かりませんが、学生さんが入居してくれるかぎり、これからも続けていきたいと思っています」



お母さんの志を受け継ぎ現在お世話いただいている上田りつ子さん  
下宿生たちに「亀岡の母」と慕われた今は亡き上田学(たか)さん



下宿生が卒業時に思い出深いテーブルに書き残していった寄せ書き

## 人事告知板・退職のお知らせ



井上博嗣 教授  
〈人間文化学部メディア文化学科〉

昭和14年の夏、亀岡の田園の畦路に5歳の私は立っていました。瑞々しい稲葉の上を渡ってくる風のあの匂いの心地よさ。あれから60年、再び亀岡の今度は学園の地に。自然人も忘れがたくした5年間で。ただただ感謝。



今西幸藏 教授  
〈人間文化学部人間関係学科〉

学校法人京都学園には7年間お世話になりました。なかでも京都文化短期大学の2年間は印象深かったです。私が初めての大学教員生活を送った2年間でもありました。今後は生涯学習の研究者として頑張ります。ありがとうございました。



北川泰三 教授  
〈人間文化学部メディア文化学科〉

人間文化学部の発足と同時に「テレビ放送論」「映像文化論」の担当者として京都文化短期大学から赴任。学部を越えて大勢の皆様にご指導いただいたことを厚くお礼申し上げ、同窓生各位の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



三箇山 清 教授  
〈経営学部経営学科〉

企業でコンピュータと情報の構築に従事した経験と知識を生かし、「理論と実践」を大学で実現でき、大変幸せでした。学生諸君には社会という海原への出航準備を怠らず、先送りせず、勉学に励んでほしいと願っています。



山口忠昭 教授  
〈経営学部経営学科〉

昭和58年4月から平成17年3月までの22年間、京都学園大学で教育・研究活動ができましたことに、深く感謝致しております。4月に入って「春風や 闘志いただきて 丘に立つ」(虚子)、この句をかみしめています。京都学園大学のさらなる発展を心より祈念いたします。

## 企業紹介のお願い

皆様もご存知のとおり、昨今の新規卒者の就職状況は学生の二分極化が進むなか、厳正採用を強いられ以前にもまして厳しいものであります。つきましては、皆様が在籍されておられます企業において新卒採用の求人等がございましたら、ご一報いただきたく申し上げます。是非とも、後輩の一助となるようご協力をお願いいたします。なお、求人に関するお問合せ・ご質問等につきましては、下記の連絡先までお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター  
TEL:0771(29)2260 FAX:0771(29)2269 E-mail:career@kyotogakuen.ac.jp

## 事務局 だより

日本全国で市町村合併が行われておりますが、皆様は住所等変更ありましたでしょうか? 同窓会事務局では、市町村合併に伴う住所変更手続き等を行っておりますが、毎回数百部のCheerが返送されてきています。配送する郵便局ごとに違うのですが、中には旧住所表記では合併後2、3年で届けてもらえない場合が多々あります。住所等に変更がありましたら、略さず正しい住所表記で変更届けをお願いいたします。

## 平成16年度 京都学園大学

# 同窓会 決算書

一般会計 (単位:円)	
科目	決算額
前年度繰越金	3,072,810
会費	25,900,000
雑収入	50,137
収入の部合計	29,022,947

一般会計 (単位:円)	
科目	決算額
事務費	1,841,550
人件費	120,000
事務補助費	1,721,550
会議費	1,659,399
交通費	955,859
事業費	703,540
会報発行費	13,697,699
名簿管理費	5,359,225
総会費	102,000
助成費	655,450
支部運営費	6,034,825
奨学費	524,302
慶弔費	960,000
慶弔費	61,897
積立金	9,000,000
基金積立金	0
事業積立金	9,000,000
予備費	0
翌年度繰越金	2,824,299
支出の部合計	29,022,947

## お便りを お待ちしております

住所変更や近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。

TEL:0771-22-2001(代)  
FAX:0771-29-2389

E-mail:  
dousoukai@gakuendai.com  
URL:

http://www.gakuendai.com  
ホームページをリニューアルしました



## クラブ活動 レポート

Reportage of Club

大学生活を振り返って最も印象に残っているのはクラブ活動、という人は多いだろう。熱中し過ぎて卒業単位が危なかった、というのも青春のよき思い出。しかし今回紹介する準硬式野球部は、ただ野球に打ち込むだけでなく、勉学・クラブ・アルバイト、すべてを全うしようというのが基本方針。「やる時はやる」という集中力で昨秋は京滋六大学リーグで優勝し、その勢いで「秋春連覇⇒関西大会3位⇒全国大会出場決定」という快挙を成し遂げた。目標に向かってはつらつとプレーする若いチームの活動ぶりを紹介する。

# 京滋六大学リーグで秋春二連覇。全国大会出場決定！ バランスのとれたチーム力で全国大会上位進出を目指す



## 準硬式野球部

### 攻撃力・投手力に自信 守備力も強化された

数年前からめきめきと実力をつけ、優勝争いの常連となった準硬式野球部は、昨年の秋季リーグに引き続き春季リーグでも頂点に立った。今年5月現在の部員数は4回生2名、3回生4名、2回生14名、1回生15名。若いチームだけに勢いがあり、これからの活躍が楽しみだ。春季リーグで連覇し、関西大会でベスト3に入った現在は、8月に

開催される全国大会に向けて、練習を重ねる日々。攻撃力・投手力に加えて守備力がさらに強化されただけに、単純なミスさえなければ全国大会上位進出も決して夢ではない。

### 「学園旋風」を合言葉に 全国大会に挑む

昨年春以降、抜群のリーダーシップでチームを引っ張ってきた北島キャプテンは語る。「最初はチームがバラバラで練習にも熱が入っていなかったのですが、夏の宮崎合宿でびしょと一つにまとまりました。3人の信頼できるピッチャーがいて、打線も心配ない。今は全国大会でひとつでも多く勝ち進んで、『学園旋風』を巻き起こすことがチームの目標です」

加藤祐一顧問からひと言  
メンバーの自主性を重んじ、チームの指揮もキャプテンに任せています。私はどんな相談事にものれる、よき兄貴分でありたいと思っています。野球漬けにはしたくない。いろんな面で大学生活を楽しんでほしい、いい就職してほしいですからね。今後はOB会組織を固め、バックアップ体制を整えたいと思っています。



## 【クレール射撃同好会】個人3連覇に続き団体で表彰台独占の快挙！

経営学部経営学科4回生の片岡勝哉さんが、個人参加のジュニアオリンピックで平成13・14・15年度と3連覇したのを契機として、新たに発足したのがクレール射撃同好会です。平成16年度には、全日本学生クレール射撃選手権トラップ種目で、早くも男子が1・2・3位を独占、女子もスキート種目で2位を獲得するという健闘ぶりをみせています。現在、男子10名・女子1名が常勝チームを目指し、京都笠取国際射撃場および学内で週2回、熱気あふれる練習に取り組んでいます。



## 京都学園大学同窓会

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL (0771) 22-2001 (代)